

Meloidogyne maliの新規同定診断プロトコル案

1 Meloidogyne maliとは

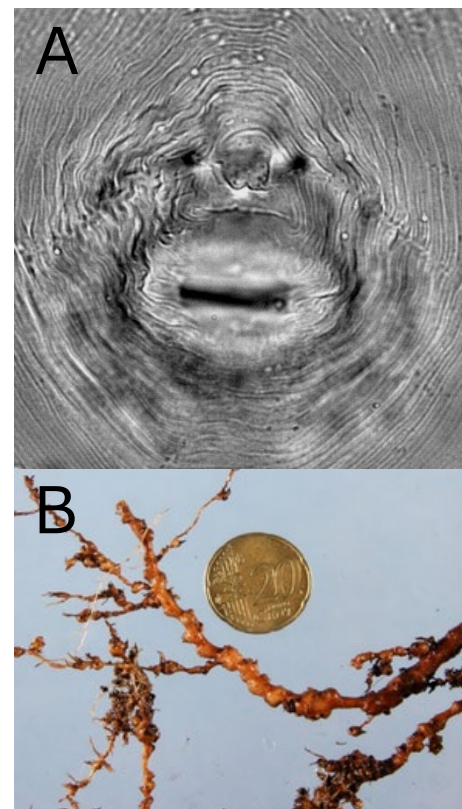
- (1) 分類学的情報：Tylenchida目Meloidogynidae科
- (2) 分布地域：日本、韓国、欧州の一部、米国
- (3) 和名：リンゴネコブセンチュウ
- (4) 寄主植物：主な寄主植物はリンゴ属、ニレ属、クワ属等。
樹木、低木、草本植物を含む様々な植物に寄生する。
- (5) 被害・病徴：根に直径0.5～2 cmの大きな根こぶを形成し、
寄生密度が高い場合には地上部に落葉や生育不良が見られる。

2 検出方法

- ・目視検査により、根に根こぶ症状があることを確認する。
- ・雌成虫は顕微鏡下で根こぶから摘出する。
- ・雄成虫、2期幼虫は土壌や生育培地からベルマン法により分離する。

3 同定方法

- ・形態学的手法：形態観察（雌成虫、雄成虫、2期幼虫）
- ・分子生物学的手法：DNAバーコーディング（18S SSU、ITS、28S LSU）
- ・生化学的手法：アイソザイム分析（エステラーゼ、リンゴ酸デヒドロゲナーゼ）
 - これら3つの手法を組み合わせることによって、同定がより確実なものになる



A : *M. mali* 雌成虫会陰紋

B : *M. mali* による根こぶ症状
(同定診断プロトコル案より)